

宮城県立高等技術専門校（普通課程）

国立県営宮城障害者職業能力開発校（普通課程）

平成 25 年 度

## 入学選考学力考查問題

国 語

試験時間 50分

### 答 え の 書 き 方

- (1) 答えは，問題の指示にしたがって解答用紙に書いてください。
- (2) 答えをなおすときには，きれいに消してから新しい答えを書いてください。

### 注 意 事 項

- (1) 解答用紙に希望訓練科名，受験番号，氏名をそれぞれ書いてください。
- (2) 机の上には，受験票，鉛筆，消しゴム，鉛筆けずり以外のものを置かないでください。
- (3) 鉛筆，消しゴムを他の受験者から借りたり，貸したりしないでください。
- (4) 「はじめ」という合図で始め，「やめ」という合図でやめてください。
- (5) 携帯電話を持っている方は，電源をお切りください。

一次の漢字の読みを、ひらがなで記入しなさい。

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| ① 遂行 | ② 擬態 | ③ 輪郭 | ④ 累積 |
| ⑤ 御中 | ⑥ 是正 | ⑦ 福音 | ⑧ 装丁 |
| ⑨ 静粛 | ⑩ 所望 | ⑪ 懸命 | ⑫ 為替 |
| ⑬ 名残 | ⑭ 概念 | ⑮ 緩和 | ⑯ 委嘱 |
| ⑰ 享受 | ⑱ 管轄 | ⑲ 随分 | ⑳ 迅速 |

二次の傍線部のカタカナを、漢字で記入しなさい。

- ① 携帯電話の着信音がナる。
- ② 信号機のボタンをオす。
- ③ 限り有る貴重なシゲンを大切にスる。
- ④ ショウリの女神が微笑ンだ。
- ⑤ セキニンの所在を明ラかにスる。
- ⑥ ケイザイは回復傾向にアる。
- ⑦ インターネットが世界にフキユウスる。
- ⑧ 電化製品のホシヨウウ書をしまッておく。
- ⑨ 相手のイトを見抜いて先回リする。
- ⑩ ハードディスクにキロククさせる。

三 次の四字熟語の空欄に当てはまる色を表す漢字を、記入しなさい。

- ① ( ) ( ) 紙撤回
- ② ( ) ( ) 息吐息
- ③ 日常 ( ) ( ) 飯
- ④ 山 ( ) ( ) 水明
- ⑤ ( ) ( ) 科玉条

四 次の①～⑤の□に漢字を補い、( )内の意味を表す慣用句を完成させなさい。

- ① □が出る (予算額を超える出費で赤字になること。)
- ② □から火が出る (恥ずかしくて赤面すること。)
- ③ □を呑む (驚いたり緊張したりすることで、一瞬、呼吸が止まること。)
- ④ 恩に□せる (与えた恩を相手に意識させること。)
- ⑤ 寝食を□れる (物事に熱中すること。)

五 次のことわざの意味にあう熟語を、解答群から一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 一事が万事
- ② 朱に交われば赤くなる
- ③ 長い物には巻かれろ
- ④ 馬脚をあらわす
- ⑤ 横槍よこやりを入れる

解答群

- ア 露見
- イ 服従
- ウ 邪魔
- エ 推察
- オ 影響

## 六 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

そこであんまり一ぺんにいってしまつて悪いけれども、なめとこ山あたりのくまは小十郎をすきなのだ。

そのしようこにはくまどもは、小十郎がほちやほちや谷をこいだり（歩いて渡つたり）谷の岸の細い平らないつばいにあざみなどの生えているとこを通るときは、だまつて高いところから見送つているのだ。木の上から両手で枝にとりついたりかけの上でひざをかかえてすわつたりして、おもしろそうに小十郎を見送つているのだ。

まつたくくまどもは小十郎の犬さえずきなようだった。

けれどもいくらくまどもだつて、すっかり小十郎とぶつつかつて、犬がまるで火のついたまりのようになつて飛びつき、小十郎が目をまるでへんに光らして鉄砲をこつちへかまえることは、あんまりすきではなかつた。そのときはたいいのくまはめいわくそうに手をふつて、そんなことをされるのをこつた。

けれどもくまもいろいろだから、気の烈しいやつなら①ほえて立ちあがつて、犬などはまるで踏みつぶしそうにしながら、小十郎のほうへ両手をだしてかかつていく。小十郎はびつたり落ちついて、樹をたてにして立ちながら、くまの月の輪をめぐけてズドンとやるのだった。

すると森までががあつと叫んでくまはどたつたとたおれ、赤黒い血を②吐きはなを③鳴らして死んでしまうのだった。

小十郎は鉄砲を木へたてかけて注意深くそばへ寄つてきて、こういうのだった。

「くま。おれはてまえをにくくて殺したのでねえんだぞ。おれも商売ならてめえも射たなけあならねえ。ほかの罪のねえ仕事していんだが、畑はなし、木はお上のものにきまつたし、里へ出てもたれも相手にしねえ。仕方なしに獵師なんぞしるんだ。てめえもくまに生まれたが因果なら、おれもこんな商売が因果だ。やい。このつぎにはくまなんぞに生まれなよ。」

そのときは犬もすつかりしよげかえつて目を細くしてすわつていた。

何せこの犬ばかりは小十郎が四十の夏、うちじゅうみんな赤痢にかかつて、とうとう小十郎の息子とその妻も死んだ中に、びんびんして生きていたのだ。

それから小十郎はふところからとぎすまされた小刀を出して、くまのあごのところから胸から腹へかけて、皮をすうつとさいていくのだった。それからあとの景色はほくは大きらいだ。けれどもとにかくおしまい小十郎が、まつ赤なくまの胆をせなかの木のひつにいでて、血で毛がほとほと房になった毛皮を谷であらつて、くるくるまるめ、せなかにしよつて、自分もぐんなりしたふうで谷をくだつて行くことだけはたしかなのだ。

問一  ①   ③  に入る言葉として最も適切なものを、解答群から一つ選び、記号で答えなさい。

解答群

- ア どくどく
- イ ごうごう
- ウ くんくん
- エ ひたひた

問二 傍線部 a 「おもしろそうに小十郎を見送っているのだ。」とありますが、その理由について最も適切なものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア なめとこ山あたりのくまはひざをかかえてすわることがすきだから。
- イ なめとこ山あたりのくまは木の上から両手で枝にとりつくことがすきだから。
- ウ なめとこ山あたりのくまは高いところがすきだから。
- エ なめとこ山あたりのくまは小十郎をすきだから。

問三 傍線部 b 「それからあの景色はぼくは大きらいだ。」とありますが、文中の「景色」とはどんな様子を指していますか。最も適切なものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア なめとこ山に広がる森の様子。
- イ 谷の岸の細い平らないっぱいにあざみなどの生えている様子。
- ウ くまを解体していく様子。
- エ 小十郎が目をまるでへんに光らして鉄砲をかまえている様子。

# 国語解答用紙 (普通課程)

	希望訓練科名
	受験番号
	氏名
※	得点

(注) ※印欄は記入しないこと。

①	⑤	⑨	⑬	⑰			
②	⑥	⑩	⑭	⑱			
③	⑦	⑪	⑮	⑲			
④	⑧	⑫	⑯	⑳			
※							

①	④	⑦	⑩				
②	⑤	⑧					
③							
④	⑥	⑨					
⑤	③						
※							

①	①	①	①				
②	②	②	②				
③	③	③	③				
④	④	④	④				
⑤	⑤	⑤	⑤				
※	※	※	※				